

<森の色合わせ：夏>

<森の色合わせ> 夏バージョンカードが日本シェアリングネイチャー協会から送られてきたので早速庭でやってみた。今回は“青系”が多く初めて聞く色名もあった。水、露草、瑠璃、裏柳、苔、虫襖（ムシアオ）、梶子（クチナシ）、珊瑚朱（サンゴシュ）、茄子紺の9種。“虫襖”とは、タマムシの翅のような深い緑色とあった。なかなかいい響きだ。茄子紺はまだナスがないから無理だろうなと思っていたら、意外や意外、すぐに見つかった。フキの茎がまさにその色、ヤブガラシの若い葉はどんびしやりだった。裏柳はアズキナシの葉の裏側がぴったり！表に比べて裏側の淡い色は色見本の上に置いたら完全にカモフラージュ。どんどん楽しくなってきた。梶子は若いキンカンを置いたらこれまたぴったりだった。狭い庭だが、くまなく探せばいろんな色が隠れている。



アズキナシの葉
裏→

←水色は見つか
らない！



ヤブガラシの若葉

→



どうしても見つからなかったのは“水色”。庭じゅう探し回ったが見つからない。畑に行けばあるかもしれないけど、畑で探すこととした。オオイヌノフグリはとっくになくなっているし、当てにしていたツユクサはまだ咲いてなかつた。諦めかけたその時、ふと空を見上げたら雲の切れ間にあるではないか。海の色を映した水色が一面に広がっていた。和の伝統色探し、奥が深くてのめり込みそうだ。